

1 コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の必要性和意義

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生の観点からも、**学校と地域の連携・協働の重要性が指摘**されています。

Society5.0※・グローバル化 (生産年齢)人口減少の進行 共生社会
児童虐待の増加 貧困問題の深刻化 地域社会のつながりや支え合いの希薄化
子どもたちの規範意識や社会性等の課題 複雑化・多様化した学校の課題に伴う教職員の勤務負担
※ サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society) (第5期科学技術基本計画)

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠

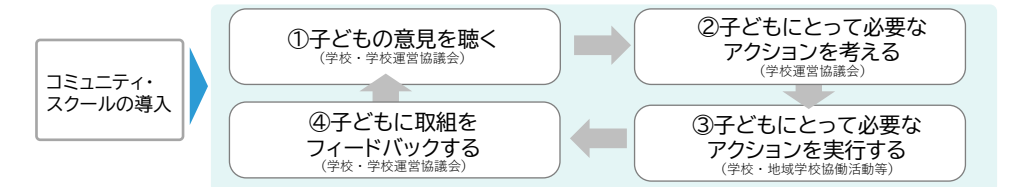
社会総掛かりでの教育を実現するうえで、これからは「開かれた学校」から更に一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む、「**地域とともにある学校**」へ転換していくことが重要とされています。

コミュニティ・スクールは、学校と地域を取り巻く課題解決のための仕組み(プラットフォーム)

- 【学校運営協議会の主な機能・権限】(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)
① 校長が作成する**学校運営の基本的な方針を承認**する
② 教育委員会または校長に対して**学校の運営に関する事項について意見を述べる**ことができる
③ **教職員の任用に関して教育委員会規則に定める事項について、任命権者に意見を述べる**ことができる
- ① 当事者性 …十分な権限により当事者意識が高まり、協議が活性化(熟議)
② 自立性・対等性 …十分な権限を持つ自立した合議体として、効果的な学校運営に寄与
③ 持続性 …継続かつ安定した学校運営のための仕組みを制度的に保証

2 コミュニティ・スクールの導入により目指す姿

- 学校運営協議会の導入により、学校においても子どもの意見表明権、意見尊重権、多様な社会活動への参画権がより一層、保障され、実効性が担保されています。
- 子どもの意見が学校運営や学校と地域の連携・協働体制に反映されるとともに、フィードバックされるというサイクルが構築され、子どもの成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働しています。
- 地域課題の解決に関わる教育活動を通じて、子どもの社会参画を促し、子どもが社会の一員としての自覚を持ち、地域への愛着やふるさと意識を醸成するなど、コミュニティ・スクールが地域課題解決の場となり、子どもがたくましく生き抜くための力が育まれるとともに、地域の活性化が図られています。



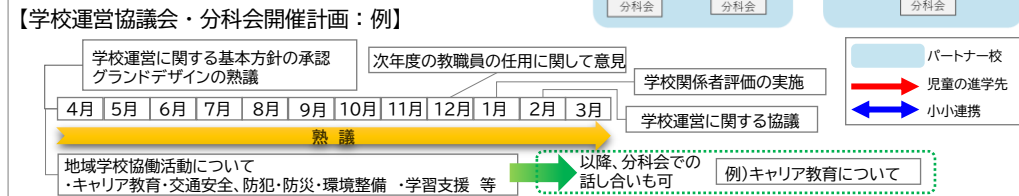
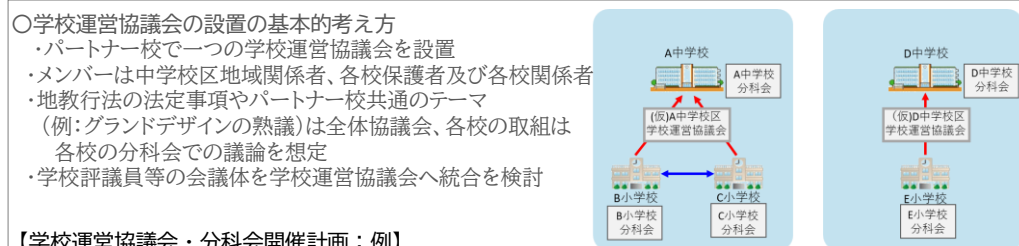
「こどもまんなか」社会の実現
子どもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、子どもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができる**アクション**を実践していきます。どんな子どものことも考えていきます。

- ✓ 学校・地域・家庭がそこに住む(通う)子どもたちにとって必要などんなアクションがとることができるのかを、「子どもの意見」を聴き、大人たちが熟慮し、議論する
- ✓ 最初から高い目標を掲げるのではなく、できることからできる範囲で取り組み、持続可能なコミュニティ・スクールとすることで、「こどもまんなか」社会の実現を図る

3 札幌らしいコミュニティ・スクール案と具体的な推進方法

- 【「札幌らしさ」のポイント】
○ 令和4年4月に全市展開した「**小中一貫した教育**」と**連動した仕組み**とします(図①)
○ 「さっぽろっ子自治的な活動※」と学校運営協議会をつなげることで「**子どもの声**」を**学校運営に反映**させます(図②)
※ 子どもの「～したい」という思いを大切に、集団作りや社会に参画し、変化を生みだした喜びを手応えとして心に残していけるような主体的な活動を大人たちが後押しし、推進する取組

図① 「小中一貫した教育」における学校運営協議会の設置方法



図② 「子どもの声」を学校運営に反映させる取組

札幌らしいコミュニティ・スクールの姿
～学校を核として、子どもと社会をつなぐための仕組みづくり～
さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」
ふるさと札幌を心にもつ学び
子どもも大人も楽しい・わくわく「札幌っていいな」
札幌市における「小中一貫した教育」 四つの視点
Positive 前向きな考えで Love 互いを大切に Unique 個性を認め合い Smile 笑顔あふれる さっぽろに
9年連続した子どもの声のつながり 子どもの理解・主体的参画の促進 教職員の連携・協働 家庭や地域との関わり
生徒会+児童会「さっぽろっ子自治的な活動」
プラスのまほう
解決・手応え 融合のイノベーション
学校運営協議会
理想=夢「～したい」
現状
課題
よりよきものを求めて
ギャップ
問題意識
課題
三間(仲間・時間・空間)
地域の中の学校(パートナー校)
=子どもと社会をつなぐ場
「子どもにとって」を考える
当事者意識のある地域住民や保護者等の枠組み
取組を外から見ている人
子どもの頑張っている姿が素敵、私もこの中に入って一緒に...!
Grand Designの共有
まちづくり
学校運営協議会を「子どもの『自治的な活動』を応援する窓口」、「子どもと社会をつなぐ窓口」に

